

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立栗崎小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 〒920-0226
石川県金沢市栗崎町へ78

E-mail : http://www.kanazawa-city.ed.jp/awagasaki-e/

Website : awagasaki-a@kanazawa-city.ed.jp

児童生徒数：男子 231名 女子 256名 合計 487名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

①学校全体の取り組み

栗崎の地域には、砂丘地を活かした農作物（五郎島金時・スイカなど）、獅子舞・奴など昔から継承されている伝統行事、障害者や高齢者を対象としたいくつかの福祉施設などが存在し、地域の特色となっている。これらの地域の特色である「ひと・もの・こと」について、資料を使ったり、地域で活動している人たちとかかわったりしながら調べ、友だちと話し合いながら、自分たちの言葉でまとめ、その成果を、保護者や地域の人たちに伝える「ESD発表会」で発表した。

②各学年の取組

1年 栗崎となかよし	}	生活科で
2年 栗崎をたんけん		
3年 栗崎のよさを見つけよう	}	総合で
4年 誰もが住みよい町づくり		
5年 砂とともに生きる町・栗崎		
6年 人とのつながりの中で生きる		

1年生は、生活科単元〈むかしあそびをしよう〉を中心に学習を進めた。実際に昔遊びを体験し、その後、地域の名人に教えてもらうことでさらに意欲が高まった。「年長さんをむかえる会」では、相手意識・目的意識を明確にして練習や発表に取り組んだ。ESD発表会では、協力してくれた昔遊びの名人や保護者に、遊び方や上手にするコツを紹介し、上達した昔遊びの技を披露した。相手に伝わるように大きな声で、はっきり、ゆっくりと話そうとする姿がみられた。

2年生は、社会福祉施設「夕凧苑」を訪問し、お年寄りの方と交流した。お年寄りに喜んでもらえるように、折り紙・あやとり・すごろく・お手玉・などの遊びを考えて準備を進めた。当日は、練習の成果を生かし、楽しく交流できた。ESD発表会では、交流の様子・職員の人たちの仕事の様子・夕凧苑の設備・一日の過ごし方などを、絵や表・実物・クイズなどを使って発表した。相手を意識して説明したり、大きな声で伝えたりするなどの姿が多く見られた。

3年生は、〈栗崎のよさを見つけよう〉をテーマに、地域を探検して分かったことを白地図にまとめたり、獅子舞・奴行列保存会の方の実演を見たり、五郎島金時の生産者の方の思いや願いを聞いたりした。その後、自分のテーマに沿って、調べ活動に取り組み、地域の伝統文化や特産品について理解を深め、大切にしよ

うという思いをもつことができた。そして、学習内容を壁新聞にまとめ、保護者や地域の方に発信した。まとめ方を相談し合ったり、発表方法をアドバイスし合ったりする姿や、聞き手に伝わるように話そうと努力する姿が見られた。

4年生は、〈だれもが住みよい町づくり〉をテーマに、バリアフリーの学習に取り組んだ。点字学習器・アイマスク・車椅子・お年寄り体験用の器具等を使って様々な立場を体験し、自分達の町がだれにとっても住みよい町かを調べる学習に取り組んだ。地域にある、体の不自由な人やお年寄りための施設を訪問して、暮らしやすくするための工夫や支える人々の思いについて学んだ。その後、調べた内容や自分たちの考えを壁新聞にまとめ、保護者・地域の方に発表した。

5年生は、〈砂とともに生きる町栗崎〉をテーマに取り組み、地域のゲストティーチャーの協力を得ながら、まず、スイカの栽培に取り組んだ。収穫の際には、育てたスイカの糖度が、出荷の基準を満たすほどであることがわかり、とても満足げであった。2学期は「加賀野菜」である「源助大根」を栽培したが、期待していたほどの収穫が得られず、農業の難しさを実感するとともに、生産者の技術や努力のすばらしさを認識できた。並行して、他の加賀野菜についても、特徴や歴史・調理の仕方などについて調べ、プレゼンテーションにまとめ、ESD 発表会で保護者・地域の方に発表した。

6年生は、〈人とのつながりの中で生きる〉をテーマに、6年間の総まとめとして、地域からさらに視点を広げ、金沢について理解を深める学習を行った。まず、百万石祭りについて調べ新聞にまとめ、2学期からは「金沢のよさを発信しよう」というテーマで、金沢の名所や伝統、偉人について追求した。実際に施設を見学し、金箔貼りの体験活動にも取り組んだ。その結果、金沢には守るべきものや伝統が多くあることを実感できた。その後一人一人が、自分の追求したことをプレゼンテーションにまとめ、ESD発表会で保護者に発表した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()